



2024年6月7日

**ESG投資を通じたSDGs達成に向けた取組みについて
～日本学生支援機構が発行するソーシャルボンドを購入～**

学校法人東北医科薬科大学（理事長 高柳 元明）は、このたび、日本学生支援機構が発行するソーシャルボンド（第75回日本学生支援機構債券（2年・ソーシャルボンド））の購入を決定いたしました。

ソーシャルボンドは、調達資金が特定の社会的課題の解決への貢献を目指すソーシャルプロジェクトに充当される債券であり、資金使途がSDGsに貢献する事業に特定される「SDGs債」としてESG投資※の対象となります。

「われら真理の扉をひらかむ」を建学の精神とする本学では、医学部、薬学部そして両学部の臨床実習の場である大学病院が連携した教育を通じて、地域社会を支える医療人や研究者など多様な人材を育成しているのに加え、本件投資を通じて豊かな人間性を備えた次代の社会を担う人材の育成に貢献している日本学生支援機構の取組みを支援したいと考えております。

【本債券の概要】

銘 柄	第75回日本学生支援機構債券（2年・ソーシャルボンド）			
年 限	2年			
発行日	2024年6月7日			
資金使途	意欲と能力があるにもかかわらず経済的理由により修学環境を整えることができない学生等を対象として、貸与する奨学金に充当される。具体的には、ソーシャルボンドにより調達された資金は第二種奨学金の財源となる予定。			
関連するSDGs	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	 <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>
その他	本債券の発行にあたり、日本学生支援機構は「日本学生支援機構ソーシャルファイナンス・フレームワーク」を策定し、第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）から、国際資本市場協会（ICMA）が公表するソーシャルボンド原則2021、ソーシャルボンド原則2023、金融庁が公表するソーシャルボンドガイドライン2021年版及び政府のSDGs目標に対する具体的施策への合致に関するセカンドオピニオンを取得している。			

※ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を組み合わせた言葉であり、「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のことをいいます。